

平成29年度歯っぴーながの8020推進県民大会（レジュメ）

「歯を治して健康寿命を延伸しましょう

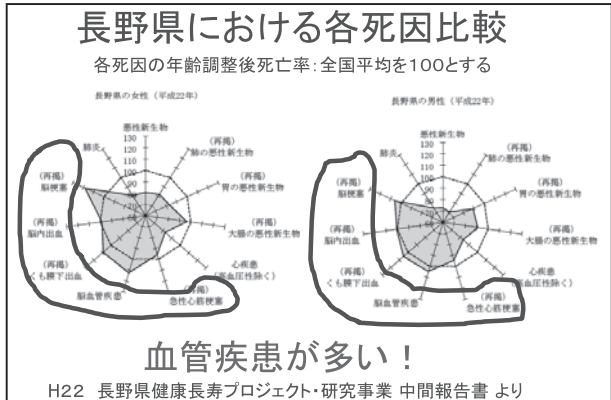
－歯周病と全身疾患の関連とその対策－

講演内容：

歯科疾患が様々な全身疾患の原因となっていることが解明されていますが、本邦ではまだ広く認知されていません。特に、歯周病は「歯の周囲の病気」であるという認識から、以前は歯周病の治療や研究は歯科に限定された専門分野として位置づけられていました。しかし、近年の研究結果から、歯周病を歯科領域のみに関連する病気という考え方は間違えていることがわかってきました。つまり、歯周病は単に口腔内の病気ではなく、全身に様々な悪影響を及ぼしている重大な原因疾患であると認識されてきています。最近の疫学研究により、歯周病が循環器疾患のリスクを高めることが注目されています。さらに、歯周病は全身に細菌が回って様々な臓器障害を起こし、糖尿病や肺炎、認知症など、致命的な病気の原因となることがわかっており、その予防や治療は、健康寿命を延ばすために大切です。本講演では、特に歯周病と全身疾患の関連をわかりやすく解説します。

本日の話題

1. 歯周病とは
2. 歯周病と糖尿病
3. 歯周病と全身疾患



血管疾患(脳卒中、心筋梗塞)を減らすために
冠動脈疾患と脳血管疾患の共通危険因子

加齢	脂質異常症
男性	高血圧
家族歴	糖尿病
	喫煙
	肥満

メルクマニュアルより

